

## 核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）

### 第 1 回ワークショップの議論のまとめ

#### 1. 今後の進め方

##### ■ 計画検討の進め方

- ・ 本道路の早期実現を願っているが、計画の位置付け・構造案等の情報を住民に丁寧に示し、住民の意見や地域の活性化といった要望を反映してほしい。
- ・ 本道路の整備は、見沼三原則も念頭に置き慎重に進めてほしい。
- ・ 本道路の整備は、周辺的生活道路の交通混雑が悪化しないよう配慮しながら進めてほしい。
- ・ 将来、本道路が延伸するかどうかで意見が変わるため、前提条件を示してほしい。
- ・ 計画を知らない市民に対して広く周知する必要があるため、地下鉄 7 号線沿線のニュースのような定期的な回覧等を用いた周知活動を行いながら、地元を始めとした様々な方の意見を聞き、慎重に検討してほしい。
- ・ いつ頃完成する予定なのか、事業スケジュールを示してほしい。
- ・ 本道路は、市民側からの要望があった上での計画なのかを知りたい。
- ・ 費用対効果はどの程度期待できるのか、示してほしい。
- ・ 本道路は今回検討区間だけでなく、東北道以東への延伸も見据えて検討する必要がある。
- ・ 東北道以東エリアをはじめとした広域なエリアを対象に情報提供や意見聴取を行った方が良いのではないか。
- ・ 農業従事者の高齢化への対応等、見沼田圃の将来も見据えながら計画を進めていく必要がある。
- ・ 既に見沼田圃のなかにあるさいたま見沼インターチェンジが設置できた経緯を確認してほしい。

##### ■ ワークショップの進め方

- ・ オープンハウスやワークショップ会場で挙げた意見を開示してほしい。また、地区ごとの傾向があれば示してほしい。
- ・ ワークショップでの意見は、市の道路計画等にも活かしてほしい。
- ・ 本道路が完成した時に利用者となる若い世代や、幅広い職業の参加者の意見を聞けるよう、開催日時を工夫してほしい。
- ・ 計画の具体化に向けて、様々な立場の方からの意見を共有し積み重ねていく必要があるため、ワークショップは継続的に行ってほしい。
- ・ ワークショップで挙げた意見が計画にどう反映されていくのか、市民にフィードバックしてほしい。

## 2. 埼玉県圏央道以南地域の交通課題について日ごろ感じていること

### ■ 渋滞

- ・ さいたま市は道路整備が十分ではなく狭隘道路も多いことから、渋滞が発生しやすい。
- ・ 第二産業道路や大和田町地区、片柳地区、膝子地区等の生活道路で渋滞が起きやすい。
- ・ 東西方向を連絡する道路が少ないため、朝の時間帯は見沼方面からさいたま新都心方面へ向かう市外ナンバーの自動車は国道 298 号、県道 2 号（さいたま春日部線）、市道 465 号等の特定の道路に集中し渋滞が発生している。
- ・ 新見沼大橋有料道路が有料であることが一因となり、見沼田圃の農道や住宅地の生活道路が抜け道として利用され渋滞を招いているため、新見沼大橋の無料化を望む。
- ・ さいたま見沼インターチェンジから東北道の岩槻インターチェンジまでの一般道の渋滞が常態化している。
- ・ お彼岸時は、見沼田圃付近の交通混雑が著しい。
- ・ 岩槻インターチェンジ付近は物流施設やショッピングセンター等の大型施設の立地による交通需要の高まりにより、国道 16 号と国道 122 号の交差点部を中心に慢性的に渋滞している。また、国道 463 号（所沢方面）でも慢性に渋滞している。
- ・ 県道 65 号（さいたま幸手線）はバス通りであり、片側 1 車線で歩道もないため、山崎交差点から東宮下交差点までの混雑が著しい。また第二産業道路の 1 車線区間の渋滞も著しい。複線化等を検討してほしい。
- ・ 外環道は市川以東が整備されたことで交通需要が高まり、関越道～東北道～常磐道の区間で慢性的に渋滞している。
- ・ 埼玉スタジアムや NACK5 スタジアム、さいたまスーパーアリーナ等でイベントがあるときは、周辺道路で渋滞が必ず発生する。特に、埼玉スタジアムの場合は、国道 122 号の大門交差点周辺で信号交差点の連坦による渋滞が発生する。
- ・ 渋滞を避けようとする交通が、県道 65 号（さいたま幸手線）の木崎地区、農道（西山通り）を抜け道として利用するため、渋滞が発生している。
- ・ 国道 463 号バイパスの越谷から浦和インターチェンジまでの区間は、朝夕や休日の渋滞がひどい。
- ・ 企業や店舗の誘致が渋滞を誘発している。
- ・ 岩槻インターチェンジ付近や国道 122 号美園地区、大口地区付近では物流倉庫等が増えており、渋滞が深刻化している。
- ・ 宅地化する前に道路整備を行わないと、ますます渋滞がひどくなる。
- ・ 渋滞でバスが動かないことがある。
- ・ さいたま市は魅力のある観光施設が限られているので、特定の施設に来訪者が集中しやすく渋滞が発生している。
- ・ 道路整備を行うことにより、交通手段の分散が図られて公共交通の混雑緩和も期待できる。

## ■ 事故

- ・ 片柳や膝子周辺の道路は歩道のない区間が多く危険なため、子ども達は通学時に遠回りをしなくてはならない。
- ・ 見沼区は学校が多く、児童数が増えていることから、交通事故が心配だ。
- ・ さいたま市には、道幅の狭い道路に自転車専用レーンを設置している区間やガードレールや路側帯のない区間があり、自転車と歩行者・自動車の接触事故が多発している。
- ・ 埼玉スタジアムでのイベント時や高校周辺の道路で危険を感じる。
- ・ 見沼田圃の農道は大型車等が抜け道として利用しており、スピードを出して走行していることもあり、危険を感じる。
- ・ 大型車の利用で舗装が劣化しやすく、走行時に車両が傾く区間もある。
- ・ 見沼田圃の農道及び周辺道路は自動車や自転車の利用が多く、事故も多い。新しい道路の整備に伴い、影響を受ける周辺道路を中心に歩車分離等の安全対策を行ってほしい。
- ・ 国道 463 号は新見沼大橋有料道路を避ける自動車が抜け道として利用している。
- ・ 国道 463 号は歩道が整備されていないため、歩行者は利用できない。
- ・ 国道 463 号の木崎地区は通学路に指定されているものの、歩行者は危険を感じており、他の道路へ迂回している。
- ・ 歩道の整備が追い付いてなく、歩行者・自転車にとって危険な道路が多い。
- ・ 県道 324 号（蒲生岩槻線）の美園東 2 丁目、1 丁目付近のエリアは、ゾーン 30 が設けられているがゆえに交差点部に「止まれ」等の道路標識を設置できず、渋滞や事故を招いている。
- ・ 人口の増加に伴い、自転車マナーを守らない人が増えているため、自転車専用レーン等を表示した道路を増やしてほしい。
- ・ 見沼田圃周辺の道路は幅員が狭いものの、信号交差点がないことからスピードを出して走行する自動車が多く、出会い頭の事故が発生している。
- ・ 国道 16 号の渋滞により、真福寺・柏崎地区の生活道路が抜け道として利用されている。
- ・ 抜け道に利用されている道路には、通学路の区間もあるので危険を感じる。
- ・ 道路の整備による、事故の減少に期待したい。
- ・ 道路整備が追い付いていないため、通学路が抜け道に利用されており、危険を感じている。
- ・ 美園地区では住宅建設の進行とともに、交差点部での死角が増えてきている。
- ・ 交通標識のない道路は抜け道として利用されやすく、子どもの通学に不安を感じる。
- ・ 生活道路と大型車等が利用する産業道路の区分を明確にして、地域住民が安全に歩ける環境を整えてほしい。
- ・ センターラインがないような幅員の狭い道路が多く、前方の自転車も追い抜くこともできない。
- ・ 緑区の道路は、車優先、歩車共存、自転車共存、歩行者優先といった道路の役割が不明確であり、歩行者も車両も道路利用について不安を感じている。

## ■ 企業進出・人口増加

- ・ 見沼区では宅地化の進行によって人口が令和7年頃まで増える見通しで、岩槻工業団地等への企業誘致を進めていくことも踏まえると、安全で円滑に走行できる道路の整備は大切だ。
- ・ 企業進出を促すためには、道路整備とともにまとまった土地の確保が必要である。
- ・ 大手企業だけでなく地元の中小企業の経済活動も支援するような道路整備を進めてほしい。
- ・ 本道路の整備により、岩槻地区付近や浦和地区付近の活性化に期待しているが、活性化には民間企業の協力も必要である。
- ・ 本道路が整備されることで、見沼田圃へのアクセスが良くなり、農業従事者の新規参加が増えるチャンスにもなりそうだ。
- ・ 美園地区付近は、近年の人口増加に伴い交通需要も増えている。
- ・ 美園地区ではマンションの建設に伴うファミリー世帯の増加により、小学校の生徒数も増加している。

## ■ 生活環境（住みやすい街づくり・生活の課題）

- ・ 市街化区域は基盤が整備されていないなかでの宅地化、市街化調整区域は人口減少が進行しており、それぞれの地域で特有の課題が生じている。
- ・ 片柳地区では、まちづくり協議会を令和5年4月に発足し、ミニ開発等を阻止するために最低敷地面積を200坪に定め、優良住宅地づくり等を検討しているため、地域住民にとっての暮らしやすい道づくりも検討していきたい。
- ・ 道路整備により、生活道路の抜け道車両の軽減や渋滞の軽減等の副次的な恩恵が地域にもあるかと思う。
- ・ 本道路の整備をきっかけに、若い世代が住みたいと思うようなまちづくりを検討してほしい。
- ・ 東北道をはさんで東側が市街化区域、西側が市街化調整区域になっており、地域間で差が生じている。道路整備にあわせて、周辺地域の底上げをしてほしい。
- ・ 横根地区や笹久保地区は公共交通も通ってなく、自家用車がないと買い物や通院ができないため、高齢者は日常生活に不安を感じている。
- ・ 首都高の高架下や新見沼大橋、水上公園付近では、不法投棄が多い。
- ・ 道路整備と併せた住宅開発が必要である。
- ・ 本道路の整備は、地域のまちづくり（住宅地の生活道路の整備等）と連携し、他部署や組織を越えて、現在進行している地域内の計画の情報を共有し、全体のまちづくりとして取り組んでほしい。
- ・ 本道路の整備だけでなく、地区全体のまちづくりの視点を踏まえながら、周辺の生活道路や公園、都市施設等の整備もセットで検討を進めてほしい。

## ■ 災害

- ・ 片柳地区周辺は片側一車線の道路が多く、発災時に災害支援の自動車が目的地に辿り着けない事態が生じないか心配だ。
- ・ 大雨時には国道 463 号をはじめとした道路が水没し通れなくなるため、救援が来られないのではと心配になる。
- ・ 大宮台地の東側のエリア、特に綾瀬川付近やさいたま見沼インターチェンジ付近、国道 122 号等では豪雨による浸水や冠水が度々発生している。
- ・ 本道路は防災拠点へのアクセス道路や周辺地域の避難場所として活用できる。
- ・ 本道路を緊急輸送道路として活用し、東北道と連携した広域な支援体制を考える必要がある。
- ・ 本道路は、災害時に外環道や国道 463 号が通行止めになったときの代替路になる。
- ・ 本道路が、災害時や医療連携の面でどれだけ機能するのか、効果検証が必要である。
- ・ さいたま市立病院付近の道路は低いので、冠水が心配だ。

## ■ 医療

- ・ 美園地区に順天堂大学病院が新設される予定だが、東西を連絡する道路では交通渋滞が起きているため、救急搬送に時間がかかり十分に機能を発揮できないのではないかと心配だ。
- ・ 美園地区では順天堂大学の病院の新設が予定されているが、周辺道路の渋滞が心配であるため、今回の道路整備では側道も検討してほしい。
- ・ 道路が狭く緊急車両が通り抜けできない状況では、ドクターカー等を保有していても有効に活用できない。
- ・ 緑区周辺は幅員の狭い道路が多く、救急車が搬送に支障をきたしている。
- ・ 病院周辺の道路が渋滞しており、救急搬送が間に合わないのではと心配になる（特に埼玉スタジアムでサッカーの試合があるとき）ため、道路整備による時間短縮に期待したい。
- ・ 三次医療施設が近隣に多く立地しているため、医療連携の強化は重要である。
- ・ 横根地区や笹久保地区は病院が少なく、生活道路も渋滞しているので、救急対応に不安を感じる。

## ■ 観光

- ・ さいたま市内の観光スポットやイベントを他市にPRしたいが、他市からのアクセス道路が混雑しているため、歯がゆい思いをしている。
- ・ 見沼田圃等の歴史文化の資源を観光客にアピールできるとよい。
- ・ 東北道と大宮駅を結ぶ道路は一般道しかなく、高速バスや観光バス等の利便性が低いため、東北方面や空港からのアクセス向上を考えると新たな道路が必要。
- ・ 埼玉スタジアムや見沼用水沿いの桜並木等の有名な場所があるため、観光客に来てもらうための道路整備が必要である。
- ・ 本道路の整備に伴う岩槻へのアクセス向上を契機に、岩槻の観光資源（時の鐘等）の知名度が高まるとよい。

## ■ その他

### ○見沼田圃の役割・活用

- ・ 見沼田圃は貯水機能を果たしている。
- ・ 見沼田圃は耕作放棄地が多いため、保全するだけでなく活用する視点が必要だ。
- ・ 見沼田圃を災害時のヘリポートとしても活用できるのではないだろうか。
- ・ 見沼田圃は防災拠点になるのではないか。
- ・ 見沼三原則はあるものの折角道路を作るのだから、開発すべきところは開発し、残すべきところは残すという活用を考えていきたい。地主の方々の意見をしっかり聞いた上で沿線のあり方を考え、特色ある土地活用ができるとよい。
- ・ 見沼田圃の景観に配慮しつつ、さいたま見沼インターチェンジに道の駅を併設する等、見沼田圃の活性化につながるような計画を検討してほしい。
- ・ 見沼田圃における農業従事者の減少への対策として、農産物の販路拡大等を検討できないだろうか。

### ○事業への懸念

- ・ 道路が整備されて利便性が高まることで、かえって交通量が増えないか心配だ。
- ・ 道路が完成する前に社会状況や周辺環境が変化してしまわないか心配だ。
- ・ 見沼田圃には珍しい鳥や生き物が生息しているため、道路整備やそれに伴う企業進出によって、見沼田圃の生態系や風景に悪影響が出ないか心配だ。
- ・ 本道路の検討を進めるにあたり、日照時間や不法投棄をはじめとした見沼田圃への環境影響を十分に考慮してほしい。
- ・ 本道路が有料だと、あまり使われない可能性がある。
- ・ 本道路は、農業地帯を通過することが想定されるため、事業の実現が難しいように感じる。
- ・ 本道路でさいたま見沼インターチェンジと東北道をつなぐだけでは、沿線地域にはメリットがない。地域をどう活性化できるのかを考えることが課題だ。
- ・ 道路整備だけでは、地域コミュニティの活性化には直結しないように感じる。

### ○その他、インフラ整備への要望・提案

- ・ 自動車専用道路として首都高速道路とつながることよりも、側道整備にメリット感じているため、側道の検討も併せて行ってほしい。
- ・ 渋滞緩和に向けて、道路整備とともにモノレールやLRT等の新交通システムの導入を検討してほしい。
- ・ 自動車のアクセス性向上だけでなく、公共交通の利便性向上も検討する必要がある。
- ・ 鉄道やバスをはじめとした公共交通と連携した道路整備により、地域の活性化につなげられないか。
- ・ 見沼田圃の農道についても整備を検討してほしい。
- ・ 埼玉高速鉄道の延伸について、さいたま新都心駅まで延伸してほしい。
- ・ 横根地区付近の公共交通の検討も期待したい。

以 上